

● 向日市公共施設等総合管理計画 パブリックコメントの結果と市の考え方について

(意見:4名、のべ9件)

分類	項目	記載頁	意見の概要	向日市の考え方
計画期間	見直しのサイクル	P3・P59	見直し期間を定めてほしい。	「向日市公共施設等検討委員会(P.57)」の場を活用し、個別施設に関する具体的な施策の進捗状況や施設の利用状況の推移を確認しながら、毎年管理方針の見直しを図ります。(第9章 2「計画の推進・見直し」(P.60)に記載)
将来人口	人口推計の整合	P9	国勢調査結果におけるH27年の記載が無い。記載してはどうか。	「人口の推移(P.9)」の図3-1にて、平成27年度の国勢調査結果を記載します。
更新需要	将来の更新需要予測	P25	維持管理・更新にかかる過去の実績値を示し、長寿命化対策等との比較を追加してはどうか。	公共施設等における現状の維持管理では、事後保全(壊れてから治す)を基本としていたため、維持管理にかかる費用は必要最小限に留められていました。そのため、現況では耐用年数を超えた施設については更新が要請され、多額の費用が必要となっています。 今後は、公共施設等の維持管理・更新に関する基本的な考え方について、このようなスクラップ & ビルドから転換し、長寿命化による計画的な管理を行います(P.27)。 本計画についてはそのための比較であることから、従来費用についての記載が無いことはご理解ください。
			長寿命化対策をした場合の費用(P.25・表5-11)は、リスクの先送りではないか。	本計画における更新需要予測では、急激に変化する社会情勢を踏まえ、今後30年間に必要な費用を算定しています。 ただし、計画期間30年を超えて以降に更新等の必要性が顕在化する公共施設等も多くあることから、随時、必要に応じて計画の見直しを図ります。 これについては、個別計画の中で検討を重ねることとし、「第9章1 PDCAサイクルによる計画のスパイラルアップ(P.59)」に追記します。
管理方針	子育て施設	P54	子育て支援施設について「民営化」に関する検討は、子育て支援施策の中で検討すべき課題ではないのか。	本計画は、将来の公共施設のあり方について方向性を示すものであり、市の財政負担軽減や平準化をはかるため、各施設の複合化や民間活用等について検討し、今後の維持管理や更新に関して方針を定めるものです。
	保健福祉系施設		「管理方法の検討」に関する具体策を提示してほしい。	管理のあり方について検討するという内容を追記します(P.54)。
	行政系施設	P55	東向日別館について、庁舎機能を分けることは非効率かつ管理コストの増加につながるのではないか。 本庁舎の耐震補強完成後には、現行どおり一箇所に集約したほうが市民の利便性と行政の効率化が確保できるのではないか。	東向日駅の利用者も多いことから、東向日別館への窓口機能移転に関しては市民サービスの向上につながると考えています。 また、これによる管理コストの増加については、市民サービスの向上に必要な費用と考えており、現方針のとおり実施すべく市民の皆様のご理解を得られるよう努めていきます(P.55に追記)。

分類	項目	記載頁	意見の概要	向日市の考え方
基本方針	多重化	P26	公共施設は避難場所に指定されているものも多いことから、ガスコージェネレーションを導入して多重化を図ったらどうか。なお、同設備は平常時から熱源としても利用可能である。	「耐震化の実施方針(P.27)」に加え、同項に新たに「(6) 省エネ技術や新技術の積極的な導入」を設け、災害時の機能確保の観点から、電力などの多重化を検討するとともに、太陽光発電やLEDなどの新技術の採用に関する内容を追記します。
その他	—	—	その他のご意見 ・「北部新市街地マンション群」の住民の高齢化に向け、福祉施設予算の倍加が将来の財政の圧迫を招くことを考慮すること。 ・「観光リピーター」を季節毎に呼び寄せることが重要である。 ・歩きやすい道路や、自転車で観光できる危なくない道路を整備し、安心安全のまちづくりを行うこと。 ・都市計画の見直しを行い、ベンチャー企業の誘致の推進を行うこと。	その他のご意見につきましては、都市計画やまちづくり、また観光振興の参考とさせていただき、今後の施策に反映していきたいと考えます。